

# 節目の年を迎え さらに魅力を発信

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。  
どうぞございます。

2014年の正月を皆さまそれぞれにお元氣にお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年は下呂市合併満10周年となります。今日まで下呂市発展のため、各般にわたりが尽力くださったことに對し感謝申し上げます。この満10年を記念し、3月1日には式典を挙げる予定です。また一昨年12月から、市民憲章制定の準備を進めており、同日に公布することとしております。さらに9月末までいくつかの記念事業を計画しており、市民の皆さまのご参加をお願いしたいと思います。

平成26年度より合併特例期間が終わり、地方交付税が段階的に削減されます。平成31年度には現在よりも30億円減少し、50億円くらいになると予想されます。そのような事態に對応するために、組織の見直し、公の施設の見直し、庁舎の一本化の検討に入っています。「地域力を生かした新

しい下呂市運営」を目指すものです。

来年には北陸新幹線が開業し、13年後にはリニア中央新幹線が開業し、中津川に岐阜県駅ができます。こうした鉄道網は下呂市にも大きな影響を与えるものと思います。濃飛横断自動車道、国道41号の整備が急務であり、東京圏、北陸圏、中京圏との時間短縮が産業振興、福祉医療等に大きな役割を果たすものと考えます。また2020年の東京オリンピック開催が決まりました。下呂市内御嶽山麓には、標高1700メートル地点に御嶽パノラマグラウンド、スポーツレクリエーションセンターがあります。国内外のアスリート招致をめざし、施設充実、アクセスの整備等を国等に要望をしています。風光明媚なところであり、観光的にも魅力があります。今年には今年です。この1年が皆さまにとって、下呂市にとって大きく飛躍することを願うとともに幸多い年になりますことを祈念し、新年のあいさつと致します。



下呂市長  
野村 誠

# 将来を見据えた 施策を推進

明けましておめでとうございませす。市民の皆さまにおかれましては、心も新たに希望に満ちた新春をお迎へのこととお慶び申し上げます。

平成24年度から新築移転工事が進められてきた「岐阜県立下呂温泉病院」が今年5月に開院となります。市民の皆様にとって充実した医療施設が整い、市立金山病院・開業医との連携のもと、より一層の医療体制の確保が図られるものと期待しております。

また、2020年に開催されます東京オリンピックの強化選手トレーニング施設として、下呂市においては濁河温泉高原スポーツレクリエーションセンター及び御嶽パノラマグラウンドが注目されています。施設の利用促進に向けて積極的に執行部と共に国や関係機関に要望してまいります。

さて、今年には五カ町村が地方自治の振興と住民の福祉の向上を願い合併して10年という節目の年を迎えました。中山間地域である下呂市では少子高齢化対策、学校教育体制、産業振興・雇用対策、環境施設整備など大変厳しい財政状況のなかで取り組まなければならぬ重要課題が多くあります。

今後は、さらに少子高齢化が進み人口減少などによる財政危機が予想されます。市民の皆様が安心・安全に暮らせるよう、議会と執行部が力を合わせて、将来を見据えた施策を推進してまいります。

本年も、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、市民の皆様にとって、この一年が幸運な年となることを祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



下呂市議会議長  
中野憲太郎